

交通量調査実施報告

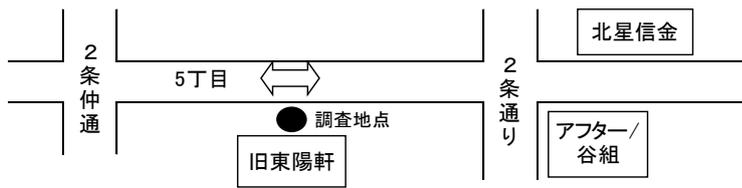
～平成19年からの比較～

調査日時: 令和6年9月27日(金)
令和6年9月29日(日)
13:00～14:00(1時間)
調査方法: 職員による計測

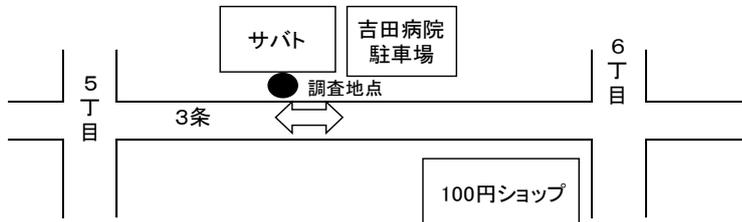
市内中心部(喜信堂前)



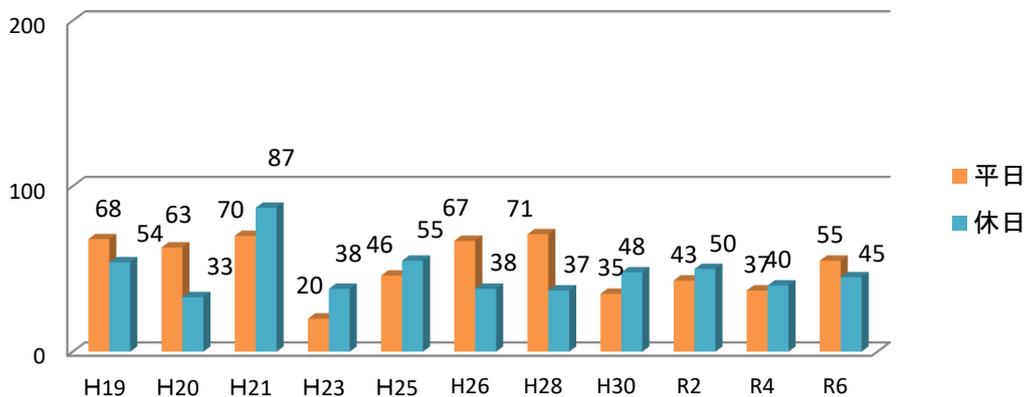
市内中心部(東陽軒前)



市内中心部(サバト前)

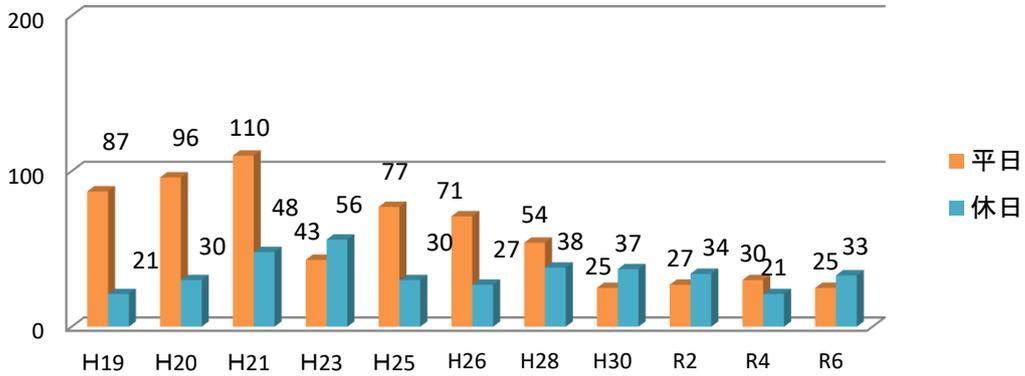


6丁目通り喜信堂前(歩行者)



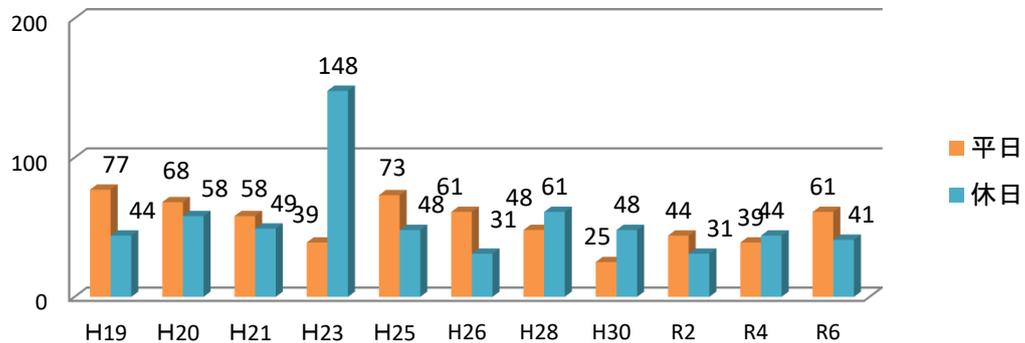
平成30年以降平日休日ともに歩行者はほぼ横ばいで推移しているが、今回調査時平日の歩行者数が過去6年の中で最も多い結果となった。調査日は天候も良く、近隣の幼稚園の園児が散歩をしている様子が見られたため、この事が増加の要因と考えられる。

5丁目通り旧東陽軒前(歩行者)



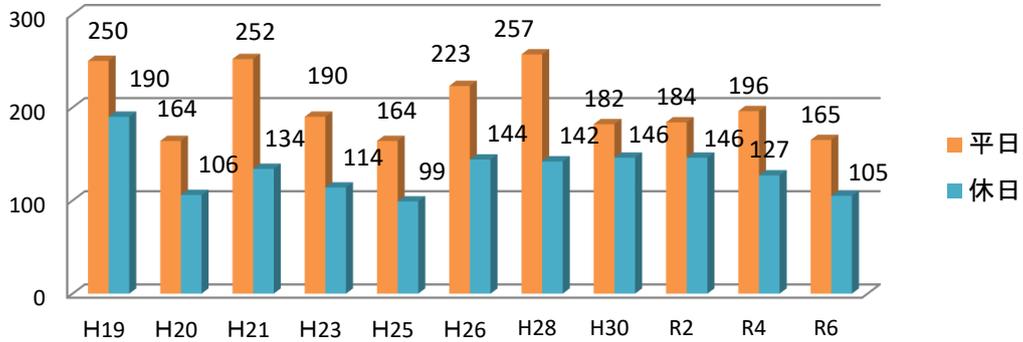
平成30年以降大きな変化は見られない。この地点での歩行者の様子を見ていると、平日休日ともに金融機関を利用している方がほとんどであったが、休日にはキャリーバッグを持っている歩行者が駅方面に向かっている様子や、親子で散歩をしている様子も見られた。

3条通りサバト前(歩行者)



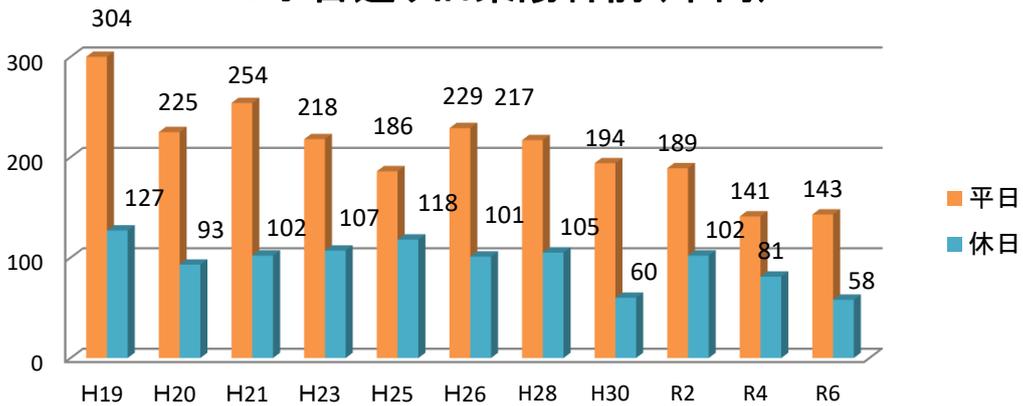
平成23年休日は3条どんぐり小路で「もみじ祭り」が開催された影響で大幅に増加している。前回調査時は平日の歩行者が、調査開始頃と比較し減少傾向にあると見られていたが、今回調査時では大幅に増加している。近隣店舗や飲食店を利用する様子も多く見られた為、そのことが一因していると考えられる。

6丁目通り喜信堂前(車両)



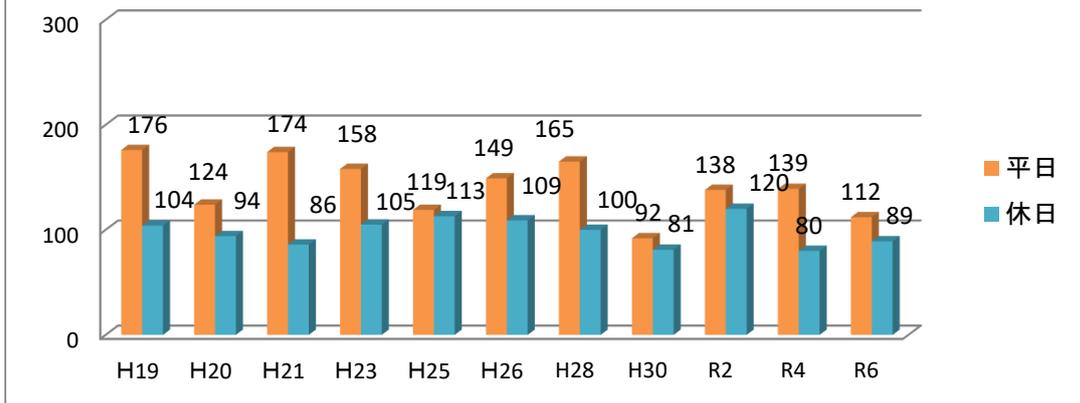
平成30年～令和4年調査時には、平日・休日ともに大きな変化はなく、平日の利用者が若干増加傾向であることが見受けられたが、今回調査時では平日休日ともに減少している。

5丁目通り旧東陽軒前(車両)



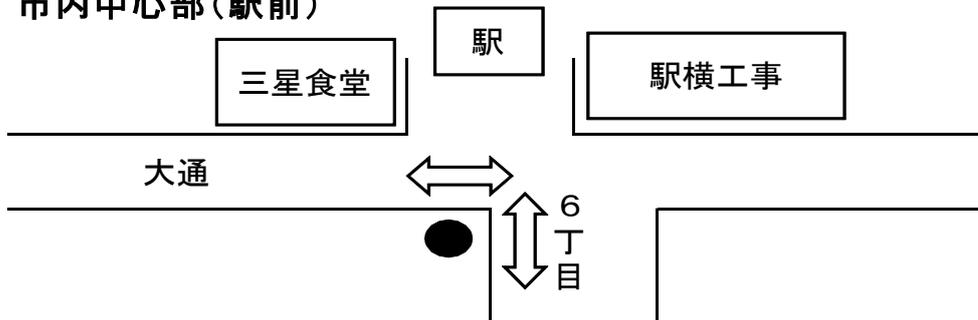
前回調査時と大きな変化は見られないが、休日の車両数が若干減少している。調査地点付近にある金融機関を利用する様子が多く見られているため、休日比べ、平日の方が車両数は多い。

3条通りサバト前(車両)



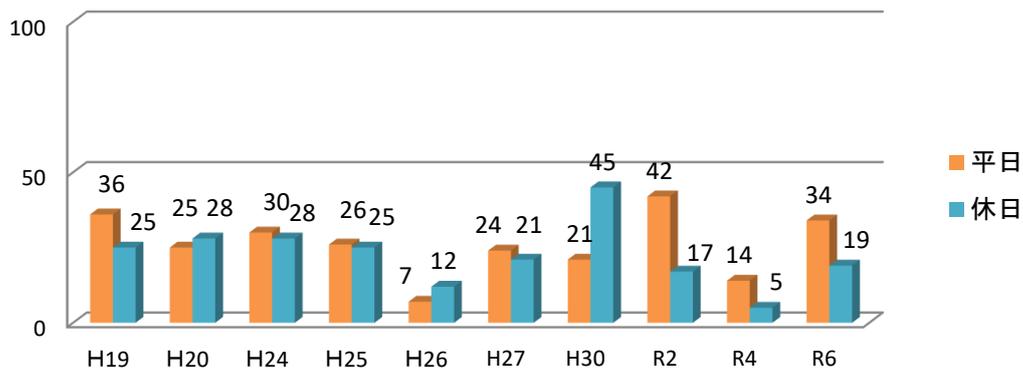
調査開始時から比べると平日の交通量は徐々に減少していることが見受けられる。徒歩や自転車で移動している姿がよく見られ、同地点での歩行者数が増加していることから、今回車両数の減少に繋がったのではと考えられる。

市内中心部(駅前)



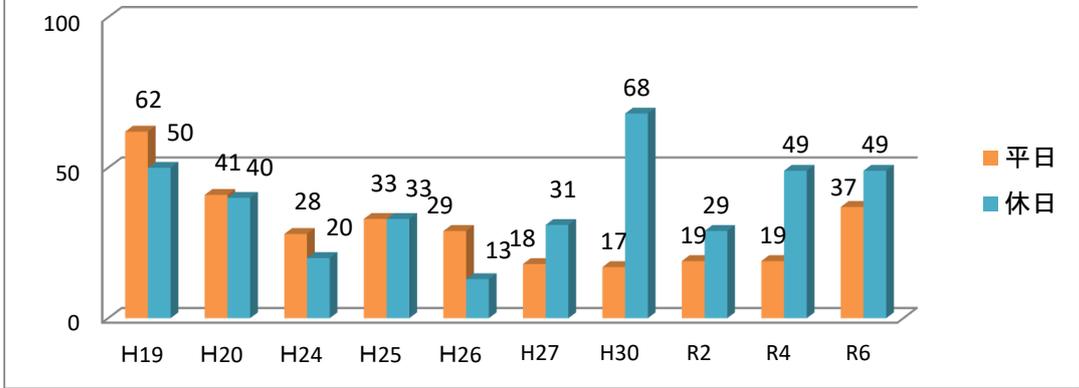
平成25年度駅横に複合交流施設「よろーな」が開設、その中に名寄商工会議所事務所が移転。賑わい創出を目的に造られた施設であり、駅前の交通量について調査。

駅前(6丁目歩行者)



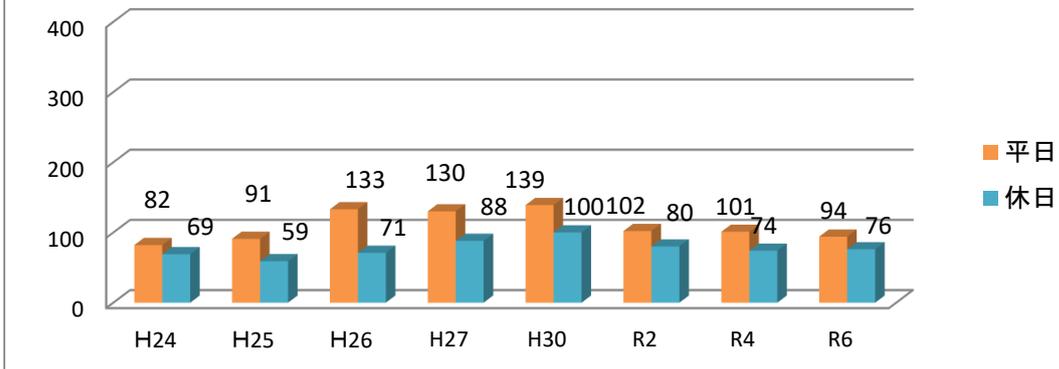
令和4年調査結果と比較し今回の調査では平日休日ともに大幅に増加している。調査開始時から平成25年調査時まではほぼ横ばいで推移しているが、それ以降の増減幅が大きいことから、この地点の利用者は固定ではないことが考えられる。平成25年度に開設された駅前交流プラザ「よろーな」の利用者や駅利用者、イベント行事が重なることで増減しうる可能性がある。

駅前(大通歩行者)



平成27年以降、平日に比べ休日の方が歩行者数が多い傾向が続いている。調査地点付近のバス停や駅などの利用者も平日より休日の方が多く見受けられることや、駅前交流プラザ「よろーな」でのイベント等が重なると多くなる傾向が見られる。今回調査を行った9月29日(日)はよろーなでイベントがあり、他調査地点よりも多くなったのではと考えられる。

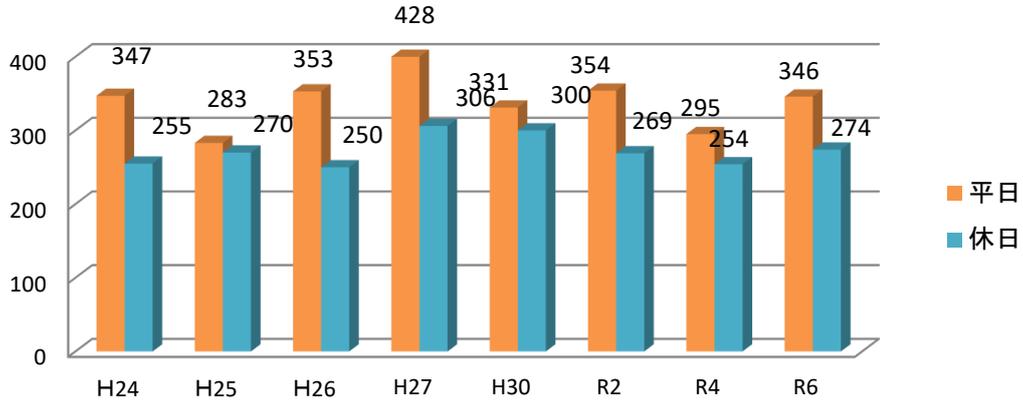
駅前(6丁目車両)



6丁目側の車両数は平日・休日ともに少ない。同じ6丁目の喜信堂前と比較しても、喜信堂前が平日165台、休日105台に対し、駅前は平日94台、休日76台と数に差があることから、6丁目を通っても駅前に抜ける車両は少ないことが窺える。

令和6年は、前回調査時と比べ大きな変化はない。

駅前(大通車輛)



平日休日とも、市内中心部より車両の交通量は2倍以上多い。年々増加傾向にあり、令和4年に減少したものの今回調査時には例年同様の交通量に戻っている。

国道での調査は行ってはいないが、南北への移動に関しては、大通と国道及び昭和通の並行する3つの大きな道路が利用されている。